

鳳 陽

第173号

令和3年9月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会
(山口大学経済学部同窓会)
〒753-0089 山口市龜山町3-1
TEL・FAX (083) 924-4361
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp
印刷所 株式会社マルニ

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——



新任のご挨拶

一般社団法人 鳳陽会
理事長 松永 昭博 (学21)

青春の志を今一度

鳳陽会を交流の場へ

この度、縁あって鳳陽会の理事長に就任いたしました。会員の皆様のご支援をいただきながら務めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

鳳陽会の第一の使命は「存続と継続」であると思えます。不易流行を念頭に、従来の伝統を受け継ぎながら、時代の変化に対応し、同窓生、学生諸君、そして地域の皆様に愛される同窓会にしていきたいと思っております。

我が山口大学経済学部の原型は明治時代に創建された山口高商に遡ります。山口県の下関はアジアに向けて開かれた港でした。山口高商の大先輩たちは地の利、そして時代の要請を背景にしてアジアを始めとする海外に雄飛し、大いに活躍されました。

この足取りも踏まえ、母校には東亜経済研究所が設立され、東アジアに関する多くの史料・文献が蓄積されています。

さて、現代ではどうか。この30年、東アジアは世界経済におけるウエイトを年々高めてきており、こうした中、若い世代が早いうちから中国、台湾、韓国などの東アジア諸国と交流を行うことはますます大切になってきています。経済学部の諸君が東アジアを訪問し、また、東アジアの若者が山大に留学して互いに交流を深めていくことを願っております。鳳陽会もこうした人材交流を支援してまいりたいと思っております。

また、母校では特色ある大学づくりを目指して、特設コースの新設、大学院の充実などの改革が行われています。鳳陽会と大学とは唇齒輔車の関係にあり、こうした改革を支えていくことも重要な役目だと考えています。

今後の鳳陽会の活動では、特に若い世代の交流支援にも配慮していきたいと考えています。

山口大学経済学部には特色があります。地元・山口だけでなく、九州、中国、四国、関西出身の学生が多く集まっており、勉学やサークル活動に励んでいます。

なぜ山大経済を受験、入学したのか。それぞれの意志や目的があつたはずですが、青春の志を今一度思い起こし、同窓会活動に関心を示そうではありませんか。

鳳陽会は会員の高齢化が進んでいますが若い世代が参加することで同窓会も一段と活性化することでしょう。

学生や若い卒業生が身近に感じる同窓会にして、次の世代が挑戦できる環境を整えていきたいと考えています。

コロナ禍により、2年続けて、会員参加の形で集うことができず、残念に思っています。通常総会では各地の同窓生代表、有志、そして学生が参加し、山大経済の絆を確かめることができます。

いち早くコロナ禍が終息し、通常総会が復活することを願っています。

私たちは純情で血気盛んな青春時代を明治維新の策源地、山口の地で過ごし、地域の皆さまから温かい目で見守られ、巣立ってまいりました。その縁を大切にしていきたいと願っています。

中世では国際色豊かな大内文化が栄え、西日本を覆う一大文化圏となり、また明治維新胎動の地となった山口。この山口が、今ひとたび周辺地域や近隣諸国の人材交流の要衝の地となり、母校が東アジア研究や地域活性化の「知の拠点」となることを切に願っています。

理事長略歴
北九州市・門司出身。
山口大学経済学部 亀山校舎で学ぶ。永倉ゼミ(株式会社)。卓球部。学生時代は萩や津和野をよく訪れた。日立金属(株)入社。ドイツ、米国での海外勤務を経て役員に就任。瑠璃光寺五重塔と一の坂川を愛す。

退任のご挨拶



一般社団法人 鳳陽会
前理事長 吉岡 博美 (学18)

この度理事長職を辞することになりました。6年間、会員の方々を始め関係の皆さんのご協力、ご支援には感謝の気持ちで一杯です。

この間、重視してきたことは支部活動の円滑な運営として母校の支援であり、支部活動については全国の支部長の方々から数多

「第91回通常総会」報告

令和3年6月19日(土)午後1時47分から、Zoomを使用したWeb会議方式により、鳳陽会の第91回通常総会を開催し、下記のとおり審議・報告を行い、午後2時35分に終了しました。

なお、今回の通常総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年を引き続き会員の皆様には書面による議決権の行使をお願いして開催しましたが、お陰をもちまして無事終えることができました。改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

記

【決議事項】

- 1 第1号議案 令和2年度決算
原案どおり承認されました。
- 2 第2号議案 役員を選任
原案どおり承認されました。

【報告事項】

- 1 令和2年度事業報告
- 2 令和2年度公益目的支出計画実施報告
- 3 令和3年度事業計画及び収支予算

本誌への広告のお願い

- ★1/3頁 … 40,000円
 - ★1/6頁 … 20,000円
 - ★1/9頁 … 15,000円
 - ★名刺版 …… 5,000円
- 事務局では、皆様方からの広告掲載の申込みを募集しております。サイズ、料金は左記のとおりです。

学部関係者や学生諸君とも交流することが出来ました。学部においてはより良い教育環境を作るべく努力に止まらず学生生活全般への配慮をされていることを感じ、小生自身学生時代は受けるばかりで思いを致さなかつたのですが、今更ながら感謝した次第です。学生諸君にも「今どきの若い者は」などと言いがちですが、自分の在り方をしっかり捉え、将来のためにもどのようにあるべきかを考え実践している姿には頼もしく思いました。年々学生は卒業し、鳳陽会員となつてきま

す。引き続き母校の支援を続けていきたいものです。

活動を通し多くの会員の皆様にもお会いすることが出来ました。各支部においては現状を正面から捉え、それぞれ固有の工夫をしながら活動に取り組んでおられます。

各支部と交流させていた

中、個人として自立し、自己を磨き続け、他への配慮も忘れない方々にお会いするにつけ、山口の風土で育った良き資質が卒業後もしっかり生きていることを実感します。また様々な事

近年の運営上大きな問題となつたのは、新型コロナの影響です。支部においても様々な行事が中止となり、同様に本部の主催する重要で節目となる総会、理事会なども書面によるものとなつてざるを得ませんでした。鳳陽会始まって以来の異例の

情で一旦は会の活動から離れたも、ある時点で戻られ、この会があつて本当に良かったと語る方がおられたことも印象的でした。同時に、活動を継続しいつでも受け入れ可能とされていた支部の皆さんにも感謝のひと時でした。

対応にもご理解、ご協力により比較的円滑に運営できたことに御礼申し上げます。

後任の松永理事長は、長くアメリカ、ヨーロッパで仕事をされ、企画力、実行力に優れた方であり、人間的にも人種を問わず人の心を大切にされる方で、皆様と共に鳳陽会の更なる発展、充実に尽力されるものと確信しています。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝を祈念申し上げて退任の挨拶といたします。

鳳陽会の新たな役員体制がスタートしました

6月19日(土)に開催された第91回通常総会において、爲近美由紀(学24)理事の後任として、鳳陽会宇部・山陽小野田支部の床本隆夫(学29)支部長が新たに理事に選任されました。また、吉岡博美(学18)理事長が退任されることとなり、6月25日(金)開催の令和3年度第2回理事会において、松永昭博(学21)理事が後任の理事長に選定され、鳳陽会の新たな役員体制がスタートしました。

吉岡博美理事長には、理事長として6年間我々を導いていただきました。これまでのご尽力に対し、深く感謝とお礼を申し上げます。併せて、この度理事を退かれた爲近美由紀理事に深く感謝とお礼を申し上げます。

今後は、松永昭博理事長の下、下記の役員体制により鳳陽会の円滑な運営、さらなる発展に向け、役員一丸となつて取り組んでまいります。

会員の皆様には、引き続き、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度 一般社団法人鳳陽会役員体制

(敬称略)

	令和2年度 役員体制			令和3年度 役員体制			
	氏名	卒期	支部	氏名	卒期	支部	備考
理事長	吉岡 博美	学18	東京	松永 昭博	学21	東京	新任
常務理事	石畠 克幸	学26	山口	石畠 克幸	学26	山口	-
理事	松永 昭博	学21	東京	-	-	-	-
理事	塩塚 保	学23	東京	塩塚 保	学23	東京	-
理事	羽根 彰	学29	大阪	羽根 彰	学29	大阪	-
理事	山下 秀雄	学26	広島	山下 秀雄	学26	広島	-
理事	久芳 博安	学19	山口	久芳 博安	学19	山口	-
理事	爲近美由紀	学24	宇部	床本 隆夫	学29	宇部	新任
理事	日高 義隆	学21	北九州	日高 義隆	学21	北九州	-
理事	鬼木 和夫	学17	福岡	鬼木 和夫	学17	福岡	-
監事	森 敏明	学23	山口	森 敏明	学23	山口	-
監事	西田 正人	学20	宇部	西田 正人	学20	宇部	-

注) 支部名の「宇部」は、宇部・山陽小野田支部を略したものである。

HITACHI
Inspire the Next

LOGISTEEDは、進化をやめない。

物流を超えたさまざまな領域の
協創パートナーとともにめざすのは、
世界がまだ知らない未知のイノベーションだ。
新たな市場を形成するプラットフォームと
なるために動き始めた。
LOGISTEEDの進化は、止まらない。

物流は新領域へ

LOGISTEED

www.hitachi-transportssystem.com
株式会社 日立物流

未知に挑む。 **日立物流**

「鳳陽会」の活動が拡大発展できるように、ご協力下さい

学園だより

令和3年度上田鳳陽賞 表彰式を開催

去る6月7日(月)、山口大学経済学部で令和3年度の上田鳳陽賞などの表彰式が開催されました。経済学部では、平成15年から、学生の勉学への積極的な取組を奨励することを目的に、学業において優秀な成績を修めた学生を表彰することとし、経済学部の源流となる「山口講堂」を創設した上田鳳陽先生に因み名付けられた「上田鳳陽賞」を授与しています。



今年、新2年生と新4年生の各学年、経済学科、経営学科及び観光政策学科の各学科で、それぞれ最も優秀な成績を修めた学生9名が表彰されました。新型

コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、表彰式は対面及びオンラインを併用する形で開催され、対面で5名、オンラインで3名が出席しました(都合により1名は欠席)。

また、TOEICで高得点を取得し副学長表彰を受けた学生2名の栄誉を讃え、経済学部から副賞が授与されました(都合により1名は

欠席)。兵藤隆(学37)経済学部長からは、「コロナ禍のこのような厳しい状況の中、頑張つて優秀な成績を修めた皆さんの姿に、私達教職員が勇気をいただきました。また、来年もこの場でお会いできることを楽しみにしています。」また、「今回、TOEIC成績優秀者として表彰された皆さんには、グローバル化の進展する中、今後益々英語力に磨きをかけていただきたい。」との言葉がありました。

学 部 短 信

次のとおり先生の異動をお知らせします。(敬称略)

退職(令和3年7月31日付)
坂東 正啓 経営学科教授
(国税庁税務大学校 研究部長へ)

新任(令和3年8月1日付)
平井 美佳 経営学科教授
(広島国税局 総務部長から)



鳳陽会からは、石嶋克幸(学26)事務局長が表彰式に出席し、受賞者を激励するとともに栄誉を讃えました。

総合型選抜及び 推薦入学者のための 『入学即TOEIC準備講座』

経済学部特命教授
山根和明(学15)

初めての試みとして、兵藤隆(学37)経済学部長ともご相談の上、この2月中旬から3月末にかけて総合型選抜(旧AO)及び推薦での入学者のための『入学前TOEIC準備講座』を『鳳陽会』後援のもとに行いました。毎週土曜日の午前10時から11時半まで、Zoomによるオンライン講座を実施しました。100名近くの入学予定者のうち39名が受講し、全員が「このような入学前の講座は本当にありがたい!」と喜んでくれました。

入学後の最初のTOEICテスト結果は、卒業要件400点を27名がクリア(最高点は615点、500点以上6名)、残りの12名はもう一歩でしたが、1年次終了時までには団体受験(IP)にほぼ全員クリアさせようと思っています。『鳳陽会』からは一人につきテキスト代金に千円の補助をいただき、学生たちも大変感

謝しておりました。ありがとうございました。来年も実施予定をしております。

また、留学生10名近くの参加を得て毎年実施している好評の「実践英会話」クラスですが、前期はコロナ禍のため留学生の確保ができず、日本人同士のペア会話演習に明け暮れる授業でしたが、それなりに学生たちも楽しんで積極的に参加してくれました。後期は何とか留学生、留学経験のある日本人の学生を確保して、一昨年の授業のような効果的、実践的なクラスにした

かと思っております。なお、今期、兵藤学部長がオリエンテーションでTOEICの重要性を語って下さったこともあり、私の受け持つ「TOEIC標準」140名、「TOEIC発展」25名、「リスニング」92名、「英会話」34名という多数の受講希望があり奮い立ちました。現在、『鳳陽会』からのテキスト代補助もいただいで、経済学部生の英語力の向上、グローバル人材の育成に日々奮闘しています。

井澤金属は、金属の未来を見つめています。

【取扱品目】
 非鉄金属素材/アルミ・伸銅製品
 特殊合金/銅合金/精密鋳・鍛造品
 クラッド/FRP/超硬・研削工具
 粉末合金製品/電装パーツ
 電子部品/金型
 エレクトロニクス関連製品
 工作機械/環境改善製品/建築材料

井澤金属は、あらゆる産業分野に
 役立つ金属素材を提供する
 非鉄金属の総合技術商社です。

井澤金属株式会社
 取締役会長 井澤 武尚 (学12)

本社〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番10号
 TEL (06) 6262-1231 FAX (06) 6262-1233
 東京支店 名古屋支店 広島営業所 神戸営業所
 URL : http://www.izawa-metal.co.jp

支部だより

福岡支部

―野外親睦会―

47回と回を重ねたゴルフを通じての親睦会も、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、昨年は、春・秋と2度とも中止となりました。今年も取まるかに見えた矢先の第4波。熟慮を重ねた末、組数・人数を限定の上、事前の感染対策をしつかりとし、プレー中もマスク着用を徹底して行うことにしました。また、表彰式は成績表・賞品を郵送に替えることとしました。

そして迎えた5月13日(木)、筑紫丘GC。爽やかな高原の風を身に受けながら、久々に顔を合わす友と汗を流す楽しい時間を共有することができました。マスク越しに互いの気持ちの高ぶりを感じつつ、プレーにも一段と力がこもるラウンドとなりました。

優勝は林さん。体がほぐれるにつれてスコアもアップ。終わってみればベストグロスの活躍でした。2位は脇野さん、3位に八尋さんが続きました。

本来でしたらプレー終了後、ゆっくりと湯船に浸かり、その日のプレーを友と語り合うところですが、今はそれも叶わず残念ではありますが、ともかく無事終了できたことを感謝したいと思います。

願わくは、一日も早く「コロナ」が終息して再び元気に集い合えることを心から祈るのみです。

文責 加藤(学20)

【参加者】(敬称略)

立花弘喜(学11)、鬼丸修一、佐藤光昭(学12)、八尋洋士(学14)、岩城紀彦(学15)、鬼木和夫(学17)、林頼二郎、上田仁教(学18)、加藤久典(学20)、松田和男(学21)、林田光博、脇野賢一(学24)、山口栄次、山川賀久(学25)、尾崎正樹(学27)

私の戦争体験

「失敗の本質」(中央公論新社)によれば、第二次大戦敗戦の原因を、根拠なき楽観主義、不明確の目標、戦力の逐次投入を挙げているが、今回の五輪でも、前車の轍を踏んだような気がしてならない。

昨年、当時の政府は「日本の技術をしてみれば、メイドインジャパンのワケチンが近く完成できるはず」だからとして、2年間の開催延期をとの意見のある中で1年延期を決定した。その結果が連日2万人超の感染者に悩む今日の姿である。

ともあれ、私は15歳の旧制下関中学3年生で終戦を迎えた。学徒動員で派遣されていた彦島の三井精錬会社前庭で、昭和天皇のポツダム宣言受諾を告げるラジオ放送を涙ながらに聞いた。反面、その日以来、安眠を妨げる空襲警報、B29の爆音から解放されて安堵を覚えたものである。

た。3年生になると学徒動員令に基づいて、航空機製造所他各種軍需工場に向き寄せられた。勤労奉仕は短期間であつたので、終われば学校に復帰したが、動員は週6日労働の連続であつたので、授業は殆ど受けられなかった。

自宅は幸いにして焼夷弾爆撃を逃れたが、市内中心部はほぼ全焼した。以後、B29爆撃機の狙つたのは機雷投下による関門海峡封鎖であつた。朝鮮半島から本土への最短距離にある関門港には満州、朝鮮からの穀物他戦略物資が陸揚げされていた。アメリカの作戦は見事に成功し、以後、毎日の如く貨物船の触雷沈没が続いた。朝の工場出勤時、沈没船からと思われる乗員の死体が、海岸に漂着しているのを何度か目撃して、目を背けたものである。

同じ工場では旧制山口高等学校学生も働いていたが、彼らは故郷を離れての寮住まいであつた。時に、万年床のままの彼らの部屋に招かれ、年長先輩から大人の世界の片鱗をこっそり教わつたものである。更に、彼らの情報網はさすがであつた。ある日、絶対口外するなと念を押されつつ「日本は、近いうちに負ける」と告げられた。「神州不滅、神風の襲来」を盲信していた軍国少年にとつては物凄しいショックであつた。

終わりに、私の人生を変えたかもしれない経験談を紹介しよう。

その1)当初は味方の対空砲火も戦闘機迎撃も活発であつた。火を噴いて落下するB29を軒下から眺めていたところ、突然、瓦半分大の高射砲弾破片がビューンという音とともに足元に落下したのち大きくはねた。

その2)農作業中のある朝、カタカタというプロペラ音を立てて小型機の急襲である。見上げると低空飛行の艦載機が地上射撃をしつつ、目前に迫っている。はつきりと搭乗員の姿が見えた。きつと相手は一少年を愚弄したのだから。

お知らせ

大学13期(昭和40年卒業)の皆様へ

昨年(令和2年)開催を予定しておりました第13期(昭和40年卒業)の卒業55周年記念同期会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により延期、改めて本年(令和3年)実施の方針で心積もりしておりましたが、昨今の情勢より判断してそれも困難であるとの結論に至りました。

本件、暫時凍結し、状況好転の兆しが芽生える頃に改めてお諮り致しますので、各位のご理解を賜り度く、お知らせ申し上げます次第であります。

幹事 淵上 洋一



当時、中学生や女学生は、入学と同時に春秋の収穫時には勤労奉仕と称して、近郊農家に麦や稲刈りに赴い

た。3年生になると学徒動員令に基づいて、航空機製造所他各種軍需工場に向き寄せられた。勤労奉仕は短期間であつたので、終われば学校に復帰したが、動員は週6日労働の連続であつたので、授業は殆ど受けられなかった。

自宅は幸いにして焼夷弾爆撃を逃れたが、市内中心部はほぼ全焼した。以後、B29爆撃機の狙つたのは機雷投下による関門海峡封鎖であつた。朝鮮半島から本土への最短距離にある関門港には満州、朝鮮からの穀物他戦略物資が陸揚げされていた。アメリカの作戦は見事に成功し、以後、毎日の如く貨物船の触雷沈没が続いた。朝の工場出勤時、沈没船からと思われる乗員の死体が、海岸に漂着しているのを何度か目撃して、目を背けたものである。

同じ工場では旧制山口高等学校学生も働いていたが、彼らは故郷を離れての寮住まいであつた。時に、万年床のままの彼らの部屋に招かれ、年長先輩から大人の世界の片鱗をこっそり教わつたものである。更に、彼らの情報網はさすがであつた。ある日、絶対口外するなと念を押されつつ「日本は、近いうちに負ける」と告げられた。「神州不滅、神風の襲来」を盲信していた軍国少年にとつては物凄しいショックであつた。

終わりに、私の人生を変えたかもしれない経験談を紹介しよう。

その1)当初は味方の対空砲火も戦闘機迎撃も活発であつた。火を噴いて落下するB29を軒下から眺めていたところ、突然、瓦半分大の高射砲弾破片がビューンという音とともに足元に落下したのち大きくはねた。

その2)農作業中のある朝、カタカタというプロペラ音を立てて小型機の急襲である。見上げると低空飛行の艦載機が地上射撃をしつつ、目前に迫っている。はつきりと搭乗員の姿が見えた。きつと相手は一少年を愚弄したのだから。

もしもである、高高度からの砲弾破片か、或いは超至近距離よりの機銃弾の何れかが命中していたらと、思い出しても鳥肌が立つ。生きのびた余生は大切にしたい。 完

和泉 清(経専44)

動 静

住所変更

★大学の部

学4	木本	陽一
学23	堀切	豊
学24	林田	光博
学25	小田	毅
学26	弘藤	善則
学29	金野尾	浩
学29	村上	保則
学29	山本	康弘
学31	有安	英夫
学31	奥田	晋
学31	浜野	献
学31	諸藤	修一
学32	東谷	雅明
学32	宮本	敬治
学34	鷺尾	忠彦
学34	立川	元祥
学35	末本	尚久
学36	鷺尾	真弓

学36	山田	隆士
学37	早船	嘉隆
学37	妹尾	信夫
学37	岡田亜紀江	信夫
学38	池永	弘典
学39	飯塚	信幸
学40	高村	陽子
学40	宮澤	志乃
学41	石川	健児
学41	大塚	康行
学42	瀧本	英正
学43	川村	輝美
学44	花田	尚幸
学46	林	耕平
学47	吉武	哲宏
学48	天野	亨
学48	宮崎	裕美
学50	筒井恵理子	
学50	今吉	広憲
学50	堤	純洋
学51	丸岡	大介
学52	大裏	宙
学53	田中慎一郎	
学54	井上	弘章

住所不明者
 会報が返送されま
 す。住所をご存知の
 方はお知らせ下さい。

★高商経専の部

学38	入江藤一郎
学39	藤田 泰夫
学41	神崎 正宣
学41	三井 勝美
学41	平田 昭道
学41	山田 巖
学42	村上 潔

★大学の部

学1	栗林	昌
学2	林	登
学3	素来	保之
学9	青木	秀吉
学10	伊藤	忠彦
学12	与那嶺	隆
学14	山縣	正宣
学15	森田	侃爾
学18	古田	宏治
学19	角間	信健
学19	松岡	雅昭
学20	古賀	直敏
学20	竹本	博義
学20	肥塚	光志
学21	倉田	正
学23	藤田	孝夫
学24	薛	史雄
学24	森尾	正之
学26	片山	祐次
学27	吉野	雅昭
学27	西本	郁雄
学27	西本	郁雄
学27	月岡	泰
学27	水本	智文
学27	藤井世士典	
学28	多田	知司
学29	寺園	光治
学29	志田善次郎	
学29	丸野	成人
学29	丹藤	嘉彦
学30	坂口	裕治
学31	木原	尚子
学31	村上	太
学31	高田	嘉之
学32	浜口	誠
学32	大久保正子	
学33	清水	生三
学33	大隅	英明
学35	後藤	俊也
学35	藤村	憲司
学36	井上	誠一
学36	富永	詞人
学37	佐藤	浩昭
学37	笹岡	茂信
学37	田辺	和雅
学37	三科	和子
学38	板本	裕
学38	高佐原由知	
学38	森島美智子	
学38	吉住	幸司
学38	常浦	厚雄
学38	熊野	幸一
学46	西本	浩之
学46	熊野	幸一
学46	中嶋恒一郎	
学46	武田	健作
学46	重田	弘史
学45	福原	裕和
学45	原田	賢一
学45	福山	陽一
学45	池田	満紀
学45	宮本	美江
学45	木村	稔典
学44	仲尾	隆典
学44	河本	英世
学44	浜本	明
学43	池田	義男
学43	古賀	愛
学43	西谷	尚起
学43	前田	静代
学43	石橋	啓介
学43	橋本	嗣典
学43	熊坂	知省
学42	岩永	俊一
学51	進藤	七海
学51	水谷	佑嗣
学51	越智	孝之
学51	越智	文
学51	蒲山	昇
学51	寺田	幸枝
学51	阿部	尚子
学52	末光	香菜
学52	椿	大輔
学52	池元	直子
学52	松井	良夫
学53	大賀	浩輔
学54	曳野	潤
学54	藤田	圭美
学54	笠井茜城子	
学54	平床	裕次
学54	山根	孝明
学54	古谷	敦規
学55	平田	武
学55	五位塚恰美	
学55	米原	剛
学55	大谷	哲也
学55	山縣	真美
学55	横田	一徳
学55	栗本	敏彦
学48	坂元	雄介
学49	土手	亮太
学49	石田	仁一
学50	大澤亜希子	
学51	加藤	裕樹
学56	市原万由美	
学56	井町	麻実
学56	藤田	友美
学56	中林	正造
学56	板野	綾夏
学56	佐藤	靖典
学60	保田	裕之
学60	松田	博之
学60	中田	政樹
学60	宝	早希
学60	神林	喬子
学60	上條	聖士
学60	浦野	健人
学60	稲谷	健志
学59	石橋	茜
学59	島田	悠
学59	北尾	尚樹
学59	杉原	大
学59	中田	友絵
学59	今野	友里
学58	繁富	由佳
学58	山本	啓太
学58	徳留	一将
学58	郷原	達郎
学58	岡野	隆典
学58	石川奈津子	
学57	高杉	和恵
学57	山根	彩乃
学57	伴	英明
学57	柴田	貴司

賛助会費納入者(敬称略)
 ご協力ありがとうございました。

森谷 薫(学54)
 森谷 源太(学54)
 國村 充弘(学32)

経39 藤田 泰夫
 経41 三井 勝美
 経41 平田 昭道
 経41 山田 巖
 経42 村上 潔

経38 入江藤一郎
 経39 藤田 泰夫
 経41 神崎 正宣
 経41 三井 勝美
 経41 平田 昭道
 経41 山田 巖
 経42 村上 潔

学27 水本 智文
 学27 月岡 泰
 学27 藤井世士典
 学28 多田 知司
 学29 寺園 光治
 学29 志田善次郎
 学29 丸野 成人
 学29 丹藤 嘉彦

学39 半田 真
 学39 磯部 輝幸
 学38 常浦 厚雄
 学38 吉住 幸司
 学38 森島美智子
 学38 高佐原由知
 学38 板本 裕
 学37 三科 和子
 学37 田辺 和雅
 学37 笹岡 茂信
 学37 佐藤 浩昭
 学36 富永 詞人
 学36 井上 誠一
 学35 藤村 憲司
 学35 後藤 俊也
 学33 大隅 英明
 学33 清水 生三
 学32 大久保正子
 学32 浜口 誠
 学31 高田 嘉之
 学31 村上 太
 学31 木原 尚子
 学30 坂口 裕治

学48 栗本 敏彦
 学48 坂元 雄介
 学49 土手 亮太
 学50 石田 仁一
 学50 大澤亜希子
 学51 加藤 裕樹
 学56 市原万由美
 学56 井町 麻実
 学56 藤田 友美
 学56 中林 正造
 学56 板野 綾夏
 学56 佐藤 靖典
 学60 保田 裕之
 学60 松田 博之
 学60 中田 政樹
 学60 宝 早希
 学60 神林 喬子
 学60 上條 聖士
 学60 浦野 健人
 学60 稲谷 健志
 学59 石橋 茜
 学59 島田 悠
 学59 北尾 尚樹
 学59 杉原 大
 学59 中田 友絵
 学59 今野 友里
 学58 繁富 由佳
 学58 山本 啓太
 学58 徳留 一将
 学58 郷原 達郎
 学58 岡野 隆典
 学58 石川奈津子
 学57 高杉 和恵
 学57 山根 彩乃
 学57 伴 英明
 学57 柴田 貴司

藤井 勝(高33) 31・3・1
 安松 一雄(高35) 3・6・24
 國本 桂作(高37) 3・6・8
 國富 三郎(経39) 3・6・3
 湯浅 康三(経40) 2・9・1
 豊村 昭(経41) 1・1・1
 福本 芳三(経41) 3・4・1
 山本 義(経42) 3・4・17
 小林 啓敏(経43) 2・11・1
 高山 雅雄(経43) 3・3・9
 伊藤 隆昌(経44) 3・2・12
 神山 三郎(髷15) 25・1・1
 岩村 泰男(髷15) 3・4・8
 山田 秋行(髷18) 2・7・26

★高商経専の部

謹んでお悔み
申し上げます。



学61 里田 湧生
 学61 山根 知也
 学62 吉川 郁菜
 学62 角 康平
 学62 光永 成仁
 学62 米里まどか
 学62 北村 拓也
 学62 岩下 啓輔
 学63 鵜原 浩平
 学63 松岡 奈穂

学63 立川 吉田
 学63 木村 立川
 学63 吉田 木村
 学63 河杉 藤田
 学63 藤田 木口
 学63 木口 駿佑
 学64 成美 翔太
 学64 羽太 将平
 学64 渡邊 允俊
 学64 三好麻織子 弘典
 学64 東 兼世
 学64 高宮 雅弘

学65 新川 真美
 学65 米玉利たくみ
 学65 藤本 遼太
 学65 宮田 淳樹
 学65 城野 遥
 学65 金本 佳織
 学66 黒田みづき
 学66 谷中 楓
 学66 西岡 亮一
 学66 安村 美里

学67 遠入 悠生
 学67 竹内 裕美
 学67 河津 楓
 学67 麻生 智花
 学68 大久保智晃
 学68 岡野孝太郎
 学68 嘉口 実優
 学68 酒井 聖人
 学68 杉本 果鈴
 学68 立原 恵

学68 廣中 亜美
 学68 本田 拓巳
 学68 森崎 澁生
 学68 山下 祥平
 学69 山根 拓海
 学69 山本 桃子
 学69 函師 頌彬
 学69 廣池 竜太
 学69 院 院
 学69 山崎 美優
 学69 吉田 宗生
 学69 渡邊 信康
 学69 吉田 護昭

山本清九郎(学1) 2・3・1
 山本 泰夫(学2) 2・9・7
 植田 瑞夫(学3) 元・6・6
 藤井 脩(学3) 3・4・28
 松浦 恒士(学3) 3・7・24
 石原 隆司(学4) 3・5・15
 下田 章夫(学4) 3・3・29
 秋田 康彦(学6) 3・7・2
 篠原 善信(学6) 2・10・4
 徳永 晴男(学6) 2・10・6
 住吉哈爾雄(学7) 2・12・7
 金谷 公夫(学8) 2・9・4
 古土井俊昭(学8) 3・3・30
 角 利洋(学9) 3・2・15
 武末 登朝(学9) 2・12・1

★大学の部

渡辺 忠昭(学9) 2・10・26
 田辺 猛(学10) 3・4・5
 林 寿則(学14) 2・12・25
 宮川 淳(学14) 3・3・16
 長府 国夫(学15) 2・7・11
 渡邊 恭介(学15) 3・3・11
 清水 敏(学16) 2・6・28
 板保 秀孝(学18) 2・10・10
 古田 章司(学20) 2・5・31
 御園 慶信(学20) 元・5・1
 藤吉 宏男(学24) 1・1・1
 三木 哲夫(学24) 1・1・1
 清水 直幸(学29) 2・4・1
 若村 正司(学42) 3・2・5
 松井 恵子(院23) 27・6・1
 伊藤 駒之 2・6・27
 (神戸大学名誉教授)

住所・氏名等、変更された場合は
お知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。連絡方法は下記の通りです。よろしくお願いたします。

TEL & FAX : 083-924-4361
Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (http://www.houyou.or.jp/) からの変更手続きも可能です。是非ご利用ください。



鳳陽会

検索

「鳳陽」の配布について

「鳳陽会」は、年会費、賛助会費、入金で運営しています。会費を納入されている会員への還元を念頭に、機関誌「鳳陽」の配布を下記の要領で実施しています。

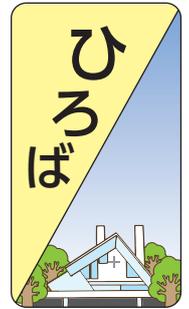
会員	1年間の配布回数	会費
年会費会員	3回 (5月・9月・1月)	3,000円/年
賛助会員(終身)	3回 (")	50,000円
贈呈者	大学関係者、及び在学生 新卒業生には卒業後3年間	

上記以外の会員には 年1回、5月号のみを送付します。

「年会費払込票」について

会報の発送時期に会費を納入された方は、再度「年会費払込票」が同封される場合があります。何卒ご了承ください。(事務局)

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。



「山口ゆめ回廊 博覧会」開催中

山口県中部の山口市、宇部市、萩市、防府市、美祿市、山陽小野田市及び島根県津和野町の7市町では、「山口ゆめ回廊博覧会」、愛称「ゆめはく」が7月1日から開催されています。

これら7市町では、圏域の住民が安心して快適に暮らすことができるよう、地域を活性化し、持続可能な地域経済を築くための交流人口や雇用を創出する取組が進められています。

今回の博覧会もこうした取組の一環として開催されているもので、「山口ゆめ回廊」のロゴマークは、インバウンドを意識し「山口ゆめ回廊」の「ゆ」と「め」を組紐



『ゆめの宝船』

のイメージでデザイン化したものだそうです。

去る7月3日(土)、4日(日)には、新山口駅の北口交通広場、新たに整備された産業交流拠点施設、KDDI維新ホールで開催のセレモニーが開催され、チェリンソート作家、林隆雄氏による博覧会のシンボル作品「ゆめの宝船」が公開されたほか、様々なイベントが開催されました。

「ゆめはく」では、12月末までの開催期間中、圏域の伝統や文化、自然といった様々な魅力を「芸術」「祈り」「時」「産業」「大地」「知」「食」の7つのテーマに分類し、各テーマに沿って、190を超えるプログラムのイベントが展開されることになっていきます。例えば、冬には日本で最初にクリスマスを祝った山口市の山口サ

ピエル記念聖堂でレーザー光線や音楽の演出による光誕祭「祈りの回廊音楽祭」が開催されます。

また、湯田温泉の飲泉手湯、足湯等を散策し、明治維新の志士が集ったことで知られる湯田温泉の松田屋を訪問、希望者は入浴もできるツアーなど、「ゆめ散歩」と名付けられた取組は圏域全域で62のプログラムが準備されています。

また、「ゆめはくアート巡回プロジェクト」と銘打ち、イベント会場に複数のアーティストが登場し、ライブやパフォーマンスなどでイベントを盛り上げることになっていきます。

この「鳳陽」がお手元に届く頃、新型コロナウイルスの感染拡大がどうなっているか予断を許さず状況にはありませんが、盛沢山の企画内容は、Webサイトを見ただけでも楽しむことができるはずです。是非、ご覧ください。

公式WEBサイト
<http://yumehaku.jp>



(事務局 山下)

本号の内容

新任のご挨拶	1
退任のご挨拶	2
通常総会報告	2
鳳陽会	2
新体制スタート	3
学園だより	4
支部だより	5
私の戦争体験	5
動静	6
ひろば	7
	8

事務局から

吉岡博美(学18)前理事長は、平成27年6月に就任されて以降、6年間理事長を務めてくれました。

この間、新たに「資金運用規則」を作成することも、鳳陽会運営の基本方針「アンケート結果」に基づく具体策への取組を策定され、ホームページの刷新を始めとする、鳳陽会の更なる発展を目指した取組を進めてくれました。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、これまでにない書面による通常総会の開催等々、鳳陽会の円滑な運営にご尽力いただきました。こうしたこれまでのご尽力に対しまして、改めて深く感謝申し上げます。(一)

山口銀行 スマホポータルアプリ

Smartphone Portal Application

▼アプリのダウンロードはこちら▼



山口銀行
ポータルアプリ

スマートフォンに左記アプリをダウンロードしてください。



いつでも、どこでも、カンタンに
便利な機能が1つのアプリにまとまりました!



山口銀行
YAMAGUCHI BANK